



扁桃炎にかかると、喉の強い痛みや高熱などにより、日常生活に支障をきたします。中には慢性化したり、緊急治療を要するケースも。どんな病気か見ていきましょう。

教えていただいたのは…



宮原孝和さん

1967年、東京都出身。日本耳鼻咽喉科学会専門医。93年、高知医科大学(現高知大学)医学部卒業。高知医科大学医学部附属病院、いなん病院、高知市立市民病院、岡山済生会総合病院を経て、2006年、岡山県南区にみやはら耳鼻咽喉科を開設、院長として治療活動にあたっている。



喉を守るには日常的なケアが大切!

## 扁桃炎を放置すると喉に膿がたまり呼吸ができなくなる恐れも……。日頃から喉を大切に!

扁桃炎を放っておくと死に至る可能性も。

扁桃腺を除去する手術のことを「扁桃腺摘出術」といいます。全身麻酔で行いますが、手術自体は決して難しいものではありません。しかし、手術の傷口からの出血があると危険なので、経過を観察するため約10日間ほどの入院が必要です。手術によって治療が可能な慢性扁桃炎ですが、扁桃の腫れをずっと放置しておく、とても怖い病気になります。その一つが、扁桃周囲膿瘍です。これは扁桃で暴れたばい菌が、

扁桃の中からさらに扁桃の周りに広がる病気です。膿が喉の奥に広がり、息の通り道の粘膜が腫れて息ができなくなり、最悪の場合、死に至る場合があります。治療するには膿を取り除く必要があるのですが、口の中から扁桃の周りの腫れた粘膜を2cmほど切除して、膿を出す必要があります。この病気にかかると、強い痛みで水分もとれない方が多く、入院して点滴治療が必要なケースがあります。口を開ける筋肉が腫れ、口が開けにくくなることもあります。ここまで症状が悪化する前に、医師の診察を受けましょう。

扁桃炎を予防するには、日常的なケアで体調を整えることが大切です。基本的なことですが、帰宅したら手を洗い、うがいをする、室内が乾燥しすぎないようにするなどして、喉を健やかに保ちましょう。また、疲れや寝不足などにより免疫力が落ちると、細菌に対する抵抗力が低下し、扁桃炎を起しやすくなります。扁桃炎の予防には、睡眠や食事、運動などの基礎的な体力づくりも重要なのです。

喉の入り口にある「口蓋扁桃」が腫れると扁桃炎に



喉がヒリヒリして「く痛い」「喉の痛みと高熱が出る」「食事だけでなく水を飲むのさえつらい……」。このような症状がある場合、扁桃炎にかかっている疑いがあります。「扁桃」とは、一般的に喉の奥にある口蓋垂(のどちんこ)の左右に1個ずつあるアーモンド(扁桃)の形をした口蓋扁桃を指します(左図)。「アデノイド」とも呼ばれるリンパ組織です。昔は専門家の間でも「扁桃腺」と

## 喉の扁桃にばい菌が悪さをして、強い痛みや高熱が出る病気です。慢性化に注意しましょう!

呼ばれていましたが、厳密には涙腺や汗腺のように何かを分泌する「腺」でないため、現在は扁桃というのが正しい呼び方です。4〜8歳の幼少時期に最も動きが活発で、大きさも最大になります。その後、年齢と共に小さくなり、大人になるとほとんど目立たなくなります。扁桃には、細菌やウイルスなどの病原菌の体内への侵入を防いでくれる働きがあり、免疫機能の役割を果たしています。ただ、この免疫機能が過労などで低下すると、ばい菌に感染して赤く腫れたり、白い膿が付くことがあります。引き起こされる症状としては、喉の強い痛み、38℃以上の高熱、体のだるさや悪寒がしたり、首のリンパ腺が腫れたりします。これが扁桃炎といわれる病気です。

主に小児期にかりやすい病気ですが、大人になっても発症します。耳や側頭部に痛みが広がることもあります。風邪を引いて扁桃炎を併発したり、扁桃炎が原因で鼻や喉などが炎症を起すこともあります。また、風邪によく似た症状なので本人は風邪を引きやすい、もしくは風邪を引くとすぐに喉が腫れると思ひ込み、扁桃炎を見逃している場合もあります。扁桃炎は、症状が軽ければ飲

また、扁桃に潜んでいるばい菌が原因となって、他の臓器に違った病気を起すことがあります。これを扁桃病巣感染といいます。扁桃自体には大きな症状は出ていなくても、扁桃から離れた臓器、皮膚、関節などに起る疾患です。掌蹼膿瘍症、胸肋鎖骨過形成症およびIgA腎症といった聞き慣れない病名が代表例ですが、これらの病気治療には扁桃の手術が有効とされています。

例えば年に3〜4回ほども扁桃炎になり、入院して点滴治療(ばい菌を殺す薬を血管から入れる治療)をしているなら、手術による治療がおすすめです。一度扁桃を取ってしまったら、それまで苦しんでいた高熱や耐えきれないほどの強い痛みはなくなりません。また、扁桃に潜んでいるばい菌が原因となって、他の臓器に違った病気を起すことがあります。これを扁桃病巣感染といいます。扁桃自体には大きな症状は出ていなくても、扁桃から離れた臓器、皮膚、関節などに起る疾患です。掌蹼膿瘍症、胸肋鎖骨過形成症およびIgA腎症といった聞き慣れない病名が代表例ですが、これらの病気治療には扁桃の手術が有効とされています。

### 病巣となる扁桃を手術で除去する治療法。

扁桃炎を何度も繰り返す慢性扁桃炎になると、手術を受けた方がいい場合があります。扁桃そのものを除去する手術です。

### POINT! 宮原孝和さんからひと言

POINT! 喉には、空気や食べ物の通り道の他、ばい菌やウイルスから体を守る「バリアー」としての役割など、さまざまな働きがあります。日頃から大切な喉を守り、もし違和感や痛みを感じたら、早めに耳鼻咽喉科を受診してください。